



高森中央小学校

学校通信

みなみかせ

令和3年2月8日(月)

第42号 文責[松本]

令和2年度学校教育目標

「ふるさとと人を愛し、自らの夢に向かって、力強く歩み続ける子どもの育成」

よいこと・わるいこと



題を見て何だろうと思われませんでしたか。1年1組の道徳で学習していた中身です。

まず、以下の3つがそれぞれよいことかどうか聞いてあります。

ろうかを走る	○ 0人	× 23人
友達と仲良くする	○ 23人	× 0人
大きな声で挨拶	○ 23人	× 0人

おもしろいなと思ったのは、次の問いです。

何がよいこと？何が悪いこと？考えていますか。	○ 14人	× 11人
------------------------	-------	-------

1年生ですので、その時に自分の思ったことを素直に表現しています。

教材は「それっておかしいよ」というお話です。どんなお話かというと、並んでいるときに割り込みを何回かしている友達のお話です。「入れて」と言われてあなただったらどうしますかと子どもたちに問いかけてあります。

入れてあげる(10人)

- ・ いいことあるかも。
- ・ がまんする。
- ・ 1回は入れてあげる。2回目は×。
- ・ ほめられるかも。
- ・ いった、あきらめる。
- ・ 友達にはやさしくせなん。

入れてあげない(13人)

- ・ 何回もずるーい。
- ・ みんなちゃんと守ってるから。
- ・ みんなのものだから一人だけいかん。
- ・ ひとりじめ×
- ・ そんなから。

同じ入れてあげる、入れてあげないにもいろんな思いがあります。自分の思ったことを出し合いながら、「あー友達はそのふう考えるんだ。」「そんな思いをもっているんだ。」というのを知ることは大切なことです。そのことを通して自分の考えを振り返ります。そこに考えの深まりや広がりが生まれます。

途中、役割演技もありました。ある場面を先生と児童が演技することで、実際にどんなことが起こるのか、どんな気持ちになるのかを具体的に考えることができます。1年生にとって有効な手立てだなあと感じました。

お話の主人公は、横入りする友達に、「それっておかしいよ。」と伝えます。どうして、はっきり言えたのか考えることが大切です。そして、お話をもとに、自分のこれまでの生活を振り返ります。こういった学習をとおして、よいと思うことを進んで行おうとする心情を育てていきます。

こんなことを言っているのかとかいいことだけを言うのではなく、自分はこう思いますとしっかり伝え合っている姿をみるとうれしいものがあります。

* 裏には5年生のことやおすすめの本シリーズ19を紹介しています。ご覧ください。

優しい6年生になれそうですね



金曜日の5時間目、5年1組、2組ともに何やら真剣に作っています。何だろうと思ったら、新1年生の体験入学の時に渡すプレゼントでした。手作りの心温まるものがたくさん出来上がっていました。

かわいらしいもの、工夫をこらしているもの等、もらった新1年生の笑顔が目につかぶようです。そういったものを真剣につくっている様子から、4月から6年生として立派に頑張ってくれそうな気がしました。

ただ本年度は、新型コロナウイルスの関係で、距離をとったりマスクをはめての活動だったりで大変なのですが、そのような状況の中どんなことがやれるのか自分たちで考えてもらおうと思います。

5年生の今の様子を見ていると相手のことを考えて行動できる優しいお兄さん、お姉さんになれそうです。期待しています。

残念ですが延長されました

1月14日に熊本県の緊急事態宣言が出されましたが、2/5(金)に、**2/8(月)から2/21(金)まで延長**することが決定されました。感染者数は減少してきているようですが、病床使用率はまだ予断を許さない状況だそうです。

不要不急の外出を控えたり、飲食店の営業も午後10時までだったりといろんな制約がありますが、大変な状況の中頑張っておられる医療従事者の方々のご苦勞を思うと、県民として協力するのを感じます。

子どもたちもこのような状況の中よく頑張っていると思います。みんなで協力してこの危機を乗り越えましょう。

おすすめの本シリーズ19

- ①本名「風につけてきたメアリー・ポピンズ」
- ②対象年齢：5・6年から ③作者：P・L・トラヴァース
- ④訳：林容吉 ⑤出版社：岩波書店



東風の吹く日に、こうもり傘につかまって、空からバンクス家にやってきた、ちょっと風変わりな保母の物語。彼女が語るお話は、子どもたちを不思議な冒険の世界へと導きます。